



ID: 1479

科目名	飼育と栽培Ⅱ【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	石川 正一			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	演習	授業形式		履修形態			
授業概要							
秋から冬にかけての野菜や花を育てたり、身近な小動物を飼育するなど、実際の体験を通して栽培や飼育の技術を習得すると共に、人間とのかかわりについて理解を深める。							
到達目標							
身近な動植物に関心を持ち、人間とのかかわりについて考えられるようになる。また、年間を通して飼育や栽培のための知識や技術を習得する。							
授業計画							
第1回	オリエンテーション 授業内容について説明						
第2回	地域の自然を観察						
第3回	栽培 冬夏野菜を育ててみる 冬夏野菜について調べる						
第4回	種をまき、苗を育てる						
第5回	野菜作りのための土作りを行う① 畑を耕す						
第6回	" ② 肥料を施す						
第7回	収穫する						
第8回	秋から冬の花を育てる						
第9回	植えるプランターや花壇を整備する						
第10回	種から花を栽培する						
第11回	飼育 身近な小動物を探し、観察する						
第12回	飼育する動物について調べる						
第13回	実際に飼育してみる 観察日記をつける						
第14回	成果報告会を行う						
第15回	まとめ						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
際に野菜を育てたり、花を育てたり、身近な小動物を育てる育てる体験ができる。観察日記を提出する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				50%	50%		
授業外学習			テキスト、教材				
飼育や栽培は授業の内外を問わず、常に関わる事が求められます。ですから、むしろ授業外での学習が成果になって現れますので、積極的に動植物と関わる事が求められます。			随時配付する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
特になし。随時紹介する。			この授業を履修した者は、必ず「栽培と飼育Ⅱ」を履修すること。				
キーワード							
栽培、飼育、育てる、動植物							